

参考資料3

環境マネジメントシステムシステム(EMS)における対応について

○趣旨

・2月11日に開催された「第4回PCB処理安全監視委員会」の委員の意見の中で、「人が替わっても対応できるように、EMSと整合性を取り、仕組みに落とし込んで欲しい。」とあった為、再生計画の内容がどこまで落とし込まれているか市と関係委員で確認を行った。

○JESCOの事故を踏まえてのEMSへの取組方針

・再生計画を受け、改善計画をISO14001(環境マネジメントシステムの国際規格)に展開しました。
(環境マネジメントシステムはP(計画)→D(実行)→C(点検)→A(対策)→P→D→C→Aと繰り返し改善活動を実施していくものであり、EMSに再生計画を組み込むことにより自己点検、継続的改善が明確に実施出来るようになります。)

○確認の状況

指導事項	対応項目	EMS上の対応内容	(豊田市、金子委員による)確認の結果
1. 施設の安全 操業の確立	(1) 作業手順書 (2) PCB流出リスク	環境側面の見直しを実施し、「誤操作等によるPCB油等の漏洩・誤操作等による排水、排気」を著しい環境側面として事業所の環境活動の目的・目標に反映させました。	○EMSの書類の織り込まれているのを確認した。
2. 現場設備の 整備 定期的な 研修	(1) 現場の整備 (2) JESCO社員の研修 (3) TKS社員の研修	具体的には、各部署の環境活動の計画書に以下の活動を盛り込みました。 ・作業手順書の定期的な見直し指示・確認(運転管理課・運転会社) ・ペール缶、ポリタンクの管理(運転管理課) ・不具合速報の迅速な報告(運転会社) ・教育(緊急時対応訓練・安全セミナー)の実施(安全対策課・運転会社) ・安全パトロールによる定期的な指導(安全対策課)	○先回の委員会で確認済 ○教育訓練計画は作成されていたが、EMSの環境実施計画書へ盛り込まれている姿が確認出来なかった。 →直ちに盛込みを対応済
3. 管理監督者・ 危機管理 体制の再確認 、強化	(1) JESCOの体制 (2) TKSの体制 (3) 危機管理	上記項目は、三ヶ月毎に所内の環境会議にて進捗管理を実施します。 また、過去の事故の教訓を生かすため監視委員会との約束事項を法令と同レベルで守るため、「法的要求事項一覧表」に新たに「監視委員会での約束事項」欄を設けて、現在までの約束事項22項目を定期的に点検するように改善しました。 約束事項の例 ・H18. 12. 21上水流出時の約束 →安全審査会での事前審査(火気・高所・酸欠・PCB暴露作業) ・H19. 1. 14真空加熱エリアにおける冷却水漏れでの約束 →遮蔽フード内のコーキング状態検査 (107定点は年4回、全延長は年1回実施) ・H19. 1. 30ベンゼン濃度管理目標値の超過での約束 →週一回ベンゼン濃度の測定を実施し、破過前に活性炭の交換を実施する ・H22. 11. 19気密試験時の凝縮液漏洩での約束 →漏洩事故発生時には、液体漏洩時対応基準に基づき対応する 又、不具合速報による文書での報告実施 ・その他の約束事項 →安全の日の活動継続と改善の実施	○トラブル検討委員会を新たに設置したが情報収集のツールであるため、EMSで規定する組織には入れないことを確認。 ※緊急時の訓練計画が確認出来なかった。 →改善を要望中
4. 指揮命令 系統の 明確化	(1) 運転時の体制 (2) 定期点検時の体制 (3) 緊急事態時の体制		○再生計画での体制を確認。 (EMSへの織り込みは現状では必要ないと判断する)
5. 事故の 未然防止	(1) JESCOの活動 (2) TKSの活動	なお、約束事項の22項目は3月23日の所内の環境会議で項目を提案し、4月27日に同会議で約束が守られていることの確認の報告をしました。	○全社的な未然防止活動は[安全の日]の活動が推進計画に織り込まれていることを確認 ○過去の起きた事故を「安全監視委員会」の要求事項として、法的及びその他の要求事項に織り込まれていることを確認

○参考

金子委員からの要望事項	要望事項に対する回答(JESCO)	EMSとの整合
※今回のトラブル対策が緊急事態として扱われず、報告書が確認出来なかった。 (外部への環境事故しか報告書の作成しない) ・洩れ等の環境に係る作業手順書は登録管理することを望む ・事業所内で収まった異常事態も報告書の作成をするように仕組みの改善を望む	・EMSの関連文書として洩れ等に関する手順をシステムに入れていく。 ・事業所内で収まった異常事態に対しても再発防止を含めた対策を実施する体制にする。	(4.4.4) ・書類類 (4.4.5) ・文書管理 (4.3.2) ・環境側面
※本年の実施計画にどのように入っているかが重要で、再生計画に基づいて教育を実施する主旨が必要です。 ・実施計画書をみれば、1年の活動のすべての姿が見えるようにするのが望ましい	・EMSで使用している環境管理計画書兼実施報告書に訓練計画を記載し、進捗の管理を行います。	(4.3.3) ・目的目標 実施計画 (4.4.2) ・力量、教育訓練 及び自覚
※事故を起こさない為の活動がEMSの中に織り込まれている姿が弱い ※現在、実施している夕礼会議・安全審査会では内容を確認すると不十分に感じる。(安全審査会の内容が偏っており、環境に対する未然防止の内容が乏しい) ・著しい環境側面に「洩れ」に関して3項目が登録されてこれらの「洩れ」に対応する訓練計画を作成するを望む ・安全審査会で環境というキーワードで予測されるリスク(洩れ)の抽出を望む	・「洩れ」に対する訓練計画を作成し、実施していく。 ・安全審査会では、安全作業だけでなく環境に悪影響を起こさないか確認をする。	(4.4.1) ・資源・役割 責務・権限 (4.4.2) ・力量、教育訓練 及び自覚 (4.3.1) ・環境側面
※今回のトラブル対策が緊急事態として扱われず、報告書が確認出来なかった。 (事業所外に出た異常に偏り過ぎている。発生源異常も対応が必要) ・将来的にEMSの仕組みに織り込むことを望む ・事業所内で抑えられた異常も、報告書を作成し、なぜなぜ解析を行い再発防止の恒久対策を望む	・事業所内で収まった異常事態に対しても再発防止を含めた対策を実施する体制にする。	(4.4.1) ・資源・役割 責務・権限 (4.4.7) ・緊急事態への 対応及び準備
※著しい環境側面に特定した箇所の未然防止をどのように管理されているか不明確であった。 ・著しい環境側面を特定しているので、この側面において未然防止をする為にどのような管理をするか仕組みをつくることを望む	・「洩れ」に対する訓練計画を作成し、実施していく。	(4.3.3) ・目的目標 実施計画 (4.6) ・運用管理 (4.3.2) ・法的及びその他 の要求事項